平成 2 9 年第 1 回 (3 月) 西 原 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告

質問日		質	問	議	員	
3月 17日(金)	① 上 里	善清	② 宮 里	芳 男	③ 与那嶺	義雄
4人	④ 大 城	純孝				
3月21日(火)	⑤ 大 城	好 弘	⑥ 喜 納	昌盛	⑦宮 里	洋 史
5人	⑧ 真栄城	哲	9 伊 計	裕子		
3月22日(水)	*	午前中は何	木会、午後 1	時 30 分な	いらの開会	
3人	⑩ 与 儀	清	① 儀 間	信 子	② 平 良	正 行
3月23日(木)	③ 前 里	光信	4 伊 波	時男	⑮ 屋比久	満
4人	16 長 浜	ひろみ				

一般質問通告内容(平成29年 第1回定例会)

質問者	① 上 里 善 清 議 員	質問の相手
1. 行財政改革 について	(1) 国民健康保険事業の赤字補填の為、一般財源から法定外繰入を余儀なくされる状況の中、平成 29 年度予算編成は緊縮予算編成なったと思いますが、今年度の予算にどのように反映されているか。また、昨年から実施している緊急アクションプランの効果と、今後も継続していくのかお伺いします。	町長
	(2) 行革において各事業の統廃合は避けられない。他方、 権限委譲による業務増加にも対応しなければならない。相 反しますが、現在の職員体制で充分なのかお伺いします。	町 長
2. ふるさと納税について	返礼品の高額化や地元産品以外の返礼品等で、ふるさと 納税の趣旨からかけ離れているのではと問題視されています。報道の内容において、各市町村に比べると西原町の 取り組みは見劣りしているのではと感じます。今の厳しい 財政の状況を考えると力を入れて取り組む必要があると 思います。これまでの状況と今後の取り組みについてお伺いします。 (1) 実施された今までの年度別の納税金額と返礼金額 納税金額 返礼品に係る金額 平成 20 年度 平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度 平成 24 年度 平成 25 年度 平成 27 年度 平成 27 年度 平成 27 年度 平成 28 年度	町 長

	(3) 返礼品の考え方	
	(4) 今後の取り組みの内容をお伺いします。	
3. 公契約条例の制定について	自治体が発注する業務において、予定価格を、清掃・警備・労務単価・資材費・その他諸経費などを現況にあった金額で積算し、また受注した事業者に公正な賃金の支払いを求める条例であり、制定すべきではないかと思いますが、町長の見解をお伺いします。	町 長
4. 土地の有効 活用	他市町村において県道の高架橋下を有効活用(テニスコート・駐車場・倉庫等)している例があります。西原町も都市化が進むにつれ土地を有効活用する必要があります。浦添西原線高架橋下の活用を県に要請すべきだと考えますが見解をお伺いします。	町長
5. 健康促進策 について	医療費を抑制するには、健康な生活習慣を身につけていただくとともに、楽しく健康づくりをする環境も重要であります。高齢者に親しまれている競技(ゲートボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等)がありますが、最近、特にパークゴルフが盛んになっていると聞きます。より一層の町民の健康促進のため、今のパークゴルフ場を(現在9ホールを18ホールへ)拡張できないかお伺いします。	町長
6. 安心・安全 について	市町村の「指定避難所」で、県内 784 施設の 8% (62 施設) が耐震基準を満たしていない事が明らかになった。西原町も調査中 (9 施設) とのことだが、調査結果は出ているのかお伺いします。	町 長
7. 文化行政に ついて	現在、各自治区で文化行事が盛んに行われています。これらを西原まつりに統合した方が全体的に盛り上がり、西原町の伝統文化の継承や観光振興にも資するのではないかと思いますが見解をお伺いします。	町 長

	提案(各自治区の行事の統合) ①1 日目(土曜日) 「梅の香」うた遊び大会 獅子舞 伝統文化行事 ②2 日目(日曜日) 芸能イベント カラオケ大会 旗頭大会 エイサー 各地域の綱を活用し東西綱引き 花火打ち上げ	
質問者	②宮里芳男議員	質問の相手
1. 道路行政について	(1) 県道浦添西原線について 平成 28 年 12 月 1 日中部土木事務所、町土木課、坂田 ハイツ自治会と3者で、坂田ハイツ自治会より提出した要 請書について一定の説明を受けました。その後、約三ヶ月 になりますが、以下について伺います。 ア. 直進道路について伺います イ. ボックス型工法について伺います ウ. ボーリング調査について伺います エ. 現在の進捗状況を伺います オ. 定期的な話し合いについては、どの様になっている か	町 長

2. 環境整備に ついて	(2) 土地区画整理事業について 町長の「平成29年度施政方針」にありますように、「幸地地区、オキコ周辺及び徳佐田地区等組合施行の準備に向けた話し合いに取り組む」とのことですが ア. 具体的な内容を伺います イ. 西地区土地区画整理事業によって人口の増加が見込まれると思いますが、平成31年より10年間で上地区の人口増加が見込まれるのか、また坂田小学校の児童数も増えると思われます。平成31年より10年間の児童数の推移を伺います。 (1) 防犯カメラ設置について 12月定例会での答弁では、「今後、問題があれば検討したい」とのことでしたが、問題が起きてからでは遅いので、対応策を伺います。 (2) 信号機設置についてきらきらビーチより兼久に抜ける交差点の信号機設置について、「平成27年度は要請し、平成28年度は協議していく」とのことでした。進捗状況を伺います。	町長
質問者	③ 与那嶺 義 雄 議 員	質問の相手
1. 特別支援教育について	前回に続き質問をしたい。特別支援教育は様々な障害を抱えている児童・生徒が対象だけに、常に子供や保護者に寄り添い、きめ細かな対応が必要だ。現場においても、より専門的知識、技能が求められる。 研究者からは、「潜在的な特別支援教育の対象者は全児童生徒の6.5%にも上る」との指摘もある。児童生徒の一人ひとりに寄り添い、早期に適切な教育的支援に結びつけるには、なお一層、学校現場の教員や教育行政の積極的な対応が必要だ。	教育長

- (1) 各学校での児童生徒に対する支援体制はどのようになっているのか。専門チームの検討会議等は年間何回程度 開催されているのか。
- (2) 発達障害は多種にわたり、より専門的な知見が必要 とされるが、担当教員の研修はどの程度実施されているの か。昨年度の件数は。
- (3) 各学校現場や教育行政が常設の組織を設置し、保護者が安心して相談できるような仕組みが必要だと考えるが、見解をお聞きしたい。
- 2. 災害時避難 所施設整備事業 の断念について

町長は昨年12月議会で、同整備事業にかかわる補正予算が否決されたのを受けて、過去2年にわたり実施してきた事業を、あっさりと事業途中で断念した。その結果、2年にわたる約2600万円の事業費と担当職員の人件費を含め約3000万円の町税を無駄にし、町民に損害を与えてしまった。その件に関して、町長は「広報にしはら」2月号において、「予算の確保が認められなかった状況において事業執行は困難と解し、事業を断念することといたしました。」と、見解を表明した。しかし、そこには町長として事業を計画・実施し、断念によって町民に約3000万円の損害を与えたことに対する責任や謝罪は感じられない。モラルハザード(責任感・倫理性の欠如)そのものだと指摘したい。もちろん、議会側にも過去2年間予算を議決した責任は免れない。行政のずさんな事業計画、それを早期に

(1) 一度補正予算が否決されただけで、すぐに断念するような事業であれば、最初からやる必要はなかった。明らかに、政策形成能力と執行能力の不足ではないか。

チェックできなかった議会の双方が、町民に謝罪し、なぜ

そのような事態に至ったかを検証する必要がある。

(2) なぜこのような事業が計画され実施に移されたのか、 外部の識者も入れて検証し、町民に対し十分な説明責任を 果たすべきだ。 町 長

(3) 行政上の不祥事・不名誉な事態が発生すれば、責任者が町民・納税者に謝罪し、責任を取るのは当然だ。町長はじめ副町長、担当管理職はそれ相応の責任を取るべきではないか。

3. 学校給食費の値上げと町長の選挙公約「給食の無償化」について

教育委員会の説明によると、食材費の高騰や栄養バランスの改善等の理由で、4月から小・中学校で500円の値上げをせざるを得ないという。値上げによる財源は約1800万円になるとの説明だ。当然、成長期にある児童生徒の食育や栄養バランスを考えれば、しっかりとした給食を保障すべきだ。だが、町長は、昨年9月の町長選挙で学校給食の「無償化」を公約した。その公約がなければ、私は今回の給食費の値上げには賛成せざるを得ない立場だ。

(1) 給食費の「無償化」というのは、保護者の経済的負担を軽減することを意味する。「無償化」の公約は、悪くても 4 年間の任期中に達成すれば公約を順守したことになるが、保護者の負担が「増えた」のでは、明らかに公約違反だ。公約を守るのであれば、財源の 1800 万円は給食費の値上げではなく、一般財源から捻出するのが道理・筋ではないか。

4. 一括交付金 を活用した自治 会公民館整備に ついて

町行政区自治会長会は町に対して、今後老朽化し建て替え整備を要する自治会や未整備の自治会を含む11自治会の公民館施設整備に関する要請を行っている。「協働のまち」づくりは、具体的には町民が町内各自治会のコミュニティー活動を介して、町民が町行政と一体となって町づくりに参加する形態をとる。地域のコミュニティー活動の拠点が自治会公民館であり、町はその整備に関して積極的に一括交付金を活用すべきではないか。

(1) 例えば南風原町では、一括交付金制度がスタートした平成 24 年度から平成 28 年度にかけて、町内の各自治会公民館を災害時の避難施設と位置付け、「災害時避難施設改修事業」を 5 地区で整備、「災害時等避難施設整備事業」で 1 公民館新設、「地域振興資料館整備事業」(複合施設)で 2 か所を整備している。一括交付金制度は残り 5

町 長

町 長

	年、単独での整備が困難な自治会から順次整備を進めては どうか。隣の、南風原町は成果を上げている。	
質問者	④ 大 城 純 孝 議 員	質問の相手
1. 平成 29 年度 施政方針について	大型MICE施設整備については、県のマリンタウン地内西原町・与那原町にまたがる施設が建設予定をされています。今、東海岸地域の町村で作っていますサンライズ協議会での議論及びその周辺部の取組みは、西原町側から提言はしているのか伺います。 (1)大型MICE施設周辺の土地利用見直しに向け区画整理の説明会を地権者にするとありますが、内容はどうでしょうか。 (2) MICE施設の建設・整備に県の予算が担保されているのかどうか、県の財政状況によって遅れることがあるのか伺います。 (3) 県のマリンタウン・MICEエリアまちづくりのビジョンの中で、方針と具体化が示されています。そのビジョンは「まちづくりを支える諸制度の変更・導入」と示されています。町はどう変えていくのか伺います。	町 長
	あるが、その計画の内容について伺います。 (5) 商工業の振興で、NS ² BP「西原町学生ソーシャルビジネスプロジュエクト」を進めるとあるが、内容について伺います。	
2. 平成 29 年の 農業委員会制度 改正について	(1) 平成29年4月1日より、新しい農業委員会制度へ 改正されるということですが、「西原町耕作放棄地 対策協議会」は、今後どうなるのか伺います。	町 長

	(2) (株)農業生産法人西原ファームも同時に体制に変 更があるのか伺います。	
	(3) (株) 西原ファームの3月末の売上見込みは、どう なのか伺います。	
3. 給食費の値 上げについて	(1) 給食費の値上げについての保護者説明会を実施したと思います。保護者の反応はどうなのか伺います。	町 長
	(2) 県内の各市町村で子育て支援が取り組まれていますが、「給食の無料化」という町長の公約とは違うと思うが、伺います。	
	(3) 敬老祝金の縮小を図るべきで、その分を子育て支援 に充てるべきだと思うが。	
4. 環境対策の推進について	(1) 自治会への資源ゴミの集団回収への報奨金の交付をするとあるが、内容について伺います。	町 長
	(2) ストックヤード、堆肥化の設備建設とあるが、中身 について伺います。	
5. 都市基盤整備について	兼久安室線街路整備事業で、西原小学校までの整備は、いつごろを予定しているのか伺います。又、東崎兼久線側はどうなのか伺います。	
6. 主な事業として	地域型就業意識向上支援事業の内容は。	
7. 介護保険事業の広域連合への加入について	介護保険事業の広域連合へ加入することについて、町民 への周知はどう取り組むのか伺います。	

質問者	⑤大城好弘議員	質問の相手
 執行体制について 	(1)本町のMICE施設周辺の土地利用計画の進捗について	町長
	ア. 土地利用整備計画の区域と面積について	
	イ. 農地転用面積	
	ウ. 土地整備の手法について	
	エ. 整備計画年度について	
	(2)災害時避難所施設整備事業断念について	
	ア. 事業を断念した経緯と理由について	
	イ. 予算執行額 2,560 万円の内訳と執行責任について	
	ウ. 地域説明の状況について	
	(3)町長の公約、学校給食費の無料化の推進について	
	ア. 学校給食費の改定と公約との整合性の見解を問う	
	イ. 保護者への説明会の状況について	
	(4)平成28年度町税の徴収について	
	ア. 町民税、固定資産税、軽自動車税の徴収率について	
	イ. 滞納者への督促状の発送件数について	
	ウ.「コンビニ納税で期限前に納入したが督促状があり、 迷惑をしている」との苦情があります。そのチェッ ク体制について	
	エ. ミスの督促状発送の件数について	

質問者	⑥ 喜 納 昌 盛 議 員	質問の	相手
1. 施政方針について	町長の3期目の新年度施策・予算。その根本理念、目標は何か。	町:	長
2. 次年度事業 について	(1)学校給食費の値上げを打ち出したが、昨年の町長選挙に於いて町長の公約「給食費の無料化を目指す」をのぼりにも掲げ、広く町民に訴えてきたはずだが先の12月定例会で「具体的にどう実現できるかを含めて検討したい」との答弁がなされた。予算提示したのは値上げ案となっているが、明らかに公約違反ではないか。	町:	EK
	ア. どう具体的に検討してきたか		
	イ. 中部学校給食事務研究会がまだ存在すると思うが そこでの検討はあったのか、又各市町村の動向はど うなっているのか。		
	ウ. 学校給食共同調理場運営委員会で値上げの決定は されたのか。		
	エ. 町P連を含め、各単Pでの事前説明会は持たれたのか。		
	オ. 毎年度多額の収入未済額が発生していると思うが、 その分の補填等はしているのか。徴収体制、不納欠 損処理に関して現在の状況、課題はないか。		
	(2)海外移住者子弟研修生受入事業の見直しをし、持続可能で発展的な国際交流事業となるよう検討すると述べているが具体的にはどう進めるのか。又、予算案で受入事業補助金を費目存置で残してあるのは評価する。そこで、アンケート調査翻訳費とは、どういうものなのか。		

	(3)尚円王即位 550 年記念事業の予算提示がされているが、その具体的な内容と今後の計画はどういうものなのか。 (4)次年度は「西原まつり」の年であり、企画運営は外部への委託と思うが、この行事は町民にとって欠かせない催し物と考える。多様な発想で多彩な出し物等でより発展させる工夫も必要と考える。そこで、町、議会に要請のある「梅の香り」うた遊び大会を受け入れ、西原町の財産として活用できないか。再考の余地はないか。	
3. 東部消防組合について	(1)新消防庁舎建設計画が次年度より動き出す。町当局の基本的な考え方は持っているのか。(2)西原分署の建替えも含めMICE施設の共用開始を見据えた町当局の早目の対応が必要と考えるが。	町 長
4. 西原町まち づくり推進協議 会について		町 長
質 問 者	⑦ 宮 里 洋 史 議 員	質問の相手
1. 児童手当・ 児童扶養手当	現在、4か月分まとめて支給されている手当があるが、 家計をサポートするためには支給期間が長いと感じる。手 当の支給を緩和することが可能か、またどのようなハード ルがあるか伺う。	町 長
2. 生活困窮世 帯の就労支援策	生活困窮世帯のサポートにおいて、親の就労支援がとても大切である。西原町の就労支援策について伺う。	町 長

3. 学校部活動 4. ふるさと納 税	学校部活動の休息日を設けることは前から言われていることであるが、現在の町の状況はどうか。また、顧問に外部人材を登録することは可能か伺う。 平成 29 年度施政方針にある「ふるさと納税の推進」について、実行の目途や具体的内容を伺う。	教育長町 長
5. MICE施 設	100 年に一度のプロジェクトと近隣市町村とともに推進してきた大型MICE施設であるが、現在の進捗状況を伺う。	町長
質問者	⑧ 真 栄 城 哲 議 員	質問の相手
1. MICE を活かしたまちづくりについて	(1) 現在、本町はMICE 施設の後背地における土地利用の見直しを行うため、準備作業に着手しています。2020年に供用開始するMICE 施設が立地する本町や与那原町において、その周辺に企業の誘致や新たなイノベーションの創出に伴う雇用の拡大。さらには、after MICEの取り込みが早急の課題であると考えます。そこで、以下の事項を伺います。 ア. 町長は、MICE を活かしたまちづくりを公約に掲げています。西原町をどの様な町にしていくのかを伺います。 イ. 土地利用の見直しと並行して行っている取り組みを伺います。 ウ. この大きなまちづくりには、町民の力や民間活力が欠かせないと考えます。その為のアイディア等の募集はどの様に行っているのか伺います。	町 長

農水産物流
 通・加工・観光
 拠点施設につい
 て

(1) 去る2月28日の全員協議会で、平成28年度予算の執行状況について、担当課より説明を受けました。平成28年度当初予算に計上した、約5,500万円を今回減額補正して、平成29年度当初予算に計上するとの事でした。この予算は、昨年3月議会で揉めにもめた末に計上された予算であります。

そこで、以下の事項を伺います。

- ア. 当時、予算審査特別委員会での説明では、この予算が 通らなければ、繰越分の予算執行やこの事業存続自体 にも影響するとの事でありました。しかし、その予算 が未執行となったこの事態との整合性を伺います。
- イ. 予算が執行できない事を知りえたのはいつか伺います。
- (2)本施設は、平成30年度の工事着手に向けて、残る 課題に向けこの一年間しっかりと取り組むとの事であっ た。

そこで、以下の事項を伺います。

- ア. 施設の運営方式は、指定管理者制度とし、公募方式と するとの事ですが、指定管理の方法や公募の方法はど の様に考えているのか伺います。
- イ. 農産物直売所や水産物等について、町内農家や漁協と の話し合いは、どの様に行っているか伺います。
- 3. ふるさと納 税について
- (1) 初日の施政方針のなかで、「ふるさと納税を推進し、 自主財源の確保に努めます。」とありました。 そこで、以下の事項を伺います。

ア. 町長の具体的な考えを伺います。

町長

町 長

質問者	⑨ 伊 計 裕 子 議 員	質問の相手
1. マイナンバー制度について	社会保障や税の個人情報を国が一元的に管理するマイナンバー制度の本格運用が開始されてから 1 年が経過しました。2015 年 10 月以降、12 桁の番号通知カードが約5900 万世帯に発送されましたが、今年の 1 月時点で、さまざまな事情で番号が通知されていない世帯が100 万件以上残されたままです。さらに、マイナンバーカードの発行は国内人口の8%程度とのことです。他人に見せてはならない個人番号と顔写真などが一つになったマイナンバーカードを持ち歩くのは、個人情報を保護する点からすれば危険です。利便性より不安の方が大きいということだと思います。しかし本町では、町の実行計画に沿って、コンビニ交付が可能となるよう準備を進めているとのことです。 (1) マイナンバー制度に対する町長の見解を伺います。 (2) 町の実行計画とは、どのようなものなのか伺います。	町長
2. 米軍機騒音について	(3) 現在、確定申告が行われています。今年から、申告 用紙に番号記載欄が設けられていますが、各省庁へ の問い合わせに対する回答では、記載がなくとも受 理し、罰則等もないということです。受け付ける際 の職員対応について伺います。 西原町議会も12月議会において、全会一致で名護市東 沿岸部におけるオスプレイ墜落に対する意見書・抗議決議 を挙げましたが、オスプレイを始め米軍機が西原上空を我 が物顔に飛んでいると苦情が寄せられています。 (1) 町のホームページや窓口にも声が寄せられている と思います。直近の半年間で何件でしょうか。 (2) それに対する町の対応を伺います。	町長

(3) 町独自での調査は行っているのでしょうか。 3. 子ども医療 子ども医療費現物支給に対する国のペナルティー制度 町 長 費現物支給につ は2018年度には廃止するとのことですが、沖縄県は2017 いて 年度より現物支給化した市町村に対して半額を補助する 方針とのことです。 現物支給とした場合、 (1) 罰金はいくらとなるのでしょうか。 (2) 県からの補助金はいくらとなるのでしょうか。 (1) 2017 年度の国の予算案で、就学援助費のうち新入 4. 就学援助費 教育長 について 学児童生徒の入学準備費用の国の補助単価が 2 倍に引き 上げられることになりした。 (小学校:20,470円→40,600円 中学校: 23,550 円→47,400 円) 町の対応を伺います。 (2) 文科省が 2015 年 8 月 24 日付で全国市町村に出し た通知で「児童生徒が必要とする時期に速やかに支給する ことができるよう十分配慮すること(特に新入学児童生徒 学用品費等)」とあります。3月までに支給する自治体が 増えています。今回は間に合わないと思いますが次年度に は 3 月までに支給できるよう前向きにご検討いただきた いと思いますが、いかがでしょうか。 5. 県介護保険 「広報にしはら」に「各種申請等の窓口業務については、 町 長 これまでどおり役場で行います。」とありますが、町民と 広域連合加入に ついて の直接的な関わりとして何か変わることはあるのでしょ うか。

質問者	⑩ 与 儀 清 議 員	質問の相手
1. 災害時避難 所施設整備事業 断念について	(1)この問題の始まりは、平園地区の公民館の建設だと私は理解している。できるだけ区民の事を考えて、区民の負担にならないようにと英知を絞ったのか今回の"災害時避難所施設整備事業"だと思う。あと 500 万円出せば完成し、3億円の資産が町民の手に入るはずであった。しかし、昨年の12月定例議会の補正予算が認めてもらえず、災害時避難所施設建設は断念となった。誠に残念な事である。今まで使った2,600 万円も長年の職員の苦労も水の泡となった。これによってこれから公民館建設を望む兼久・与那城・棚原などの公民館建設もハードルが高くなったのではと思うが町長の見解をお聞きしたい。 (2)職員に対する心のケアはしっかり行っているか。 (3)本町において公民館の名称がなく、公民館として機能している所は何か所あるか。	町 長
2. 火葬場の建設問題について	高齢化社会から多死社会へ移ろうとしている今、一番深刻化しているのが、火葬場の不足の問題であります。現在、年間の死亡者数130万人が2025年(平成37年)には160万人との予想もあり、全然火葬場が足りません。今でもある県では1~2週間待たされる事もあるそうです。火葬場の建設は急務だと思うが。	町長
3. ふるさと納税の問題について	(1)町長は来年度の施政方針の中で「ふるさと納税の推進」をうたっているのであるが、 私は昨年の6月議会において批判的な立場から、このふるさと納税について質問を致しました。そして多くの問題点、疑問点を指摘しました。私が思う一番の問題点は、この制度はみんなが喜ぶ制度ではないという事であります。 笑う人が居れば必ず被害にあう人が居るのであります。しかも納税額は昨年より1.6倍急増したとの事であるが、返礼品競争が激化し、調達費が膨らんで自治体の政策に使えるお金はさほど増えないとのことであります。現に成功し	町長

たという今帰仁村でも1億7,725万円集めるのに5,317万 円、与那原町では 439 万円集めるのに 201 万円の返礼品 を使っているのであります。千葉県勝浦市においては商品 券によって 18 億円集めたが、ネット転売が問題になり高 市大臣よりお叱りを受けたとの事であります。本来の趣旨 が失われている。故に、町長には"ふるさと納税推進"の 一考を願いたい。 (2)本町において"ふるさと納税"は黒字なのか赤字なの か、つまり本年度のふるさと納税額とそれによって失われ た税はいくらか。 4. 町民陸上競 | (1)年間 30 回サッカーで利用されているという事だった 教育長 技場(グリー が、もう少し詳しく30回の内訳と料金について聞く。 ン・サッカー) の利用について (2)西原町の小学校3つ(坂田FC、西原南FC、西原 東FC) は昨年1年間で何回利用したか。 (3)前回の12月議会において利用しづらく料金が高い旨、 指摘した。改善はなされたか。 5. 「プレミアム 今年2月24日から月末の金曜日に午後3時までには退 町 長 フライデー(プ 社するという官民一体の政策「プレ金」なるものが始まっ レ金)」について | た。本町の取り組みと実情を伺う。 6. 町内の案内 字津花波のローソン前の案内板が剥げ落ちて、案内板の 町長 板・看板につい 体をなしてないように思うが、また、そういう箇所は他に 7 ないか。

質問者	⑪ 儀 間 信 子 議 員	質問の相手
1. 町財政につ いて	(1) 財政状況は極めて厳しいとのべられた訳ですが、どのような状況内容か。(2) どのように対処されるか。 その中で各補助団体等の補助額の見直しはなされたか。	町長
2. 一括交付金について	本年度の一括交付金はどのような事業を予定されていますか。一括交付金事業は5年を残す訳だが、ハード事業の一方で町民が直にメリットを感じられるソフト事業を望む声が寄せられている。望む声としては、子育て環境整備事業や福祉事業であるが、一括交付金を活用したソフト交付金の事業例にはどのような事業があるか。	町 長
3. 福祉行政に ついて	「認知症の人やその家族の相談支援を行う認知症地域 支援推進員を配置し医療機関や地域の各関係機関との連 携を図り、その状態に応じた適切なサービスにつなげるよ う支援します」。どのような事業か。	町長
4. 教育行政	 (1)少人数学級の導入を県教育庁は打ち出している。町内の学級状況はどうか。 (2)それに伴っての教員の増は。 (3)県内紙によると、今年1月17日に、「ウエブテスト改善を県教育庁に沖教組要請」とある。要請した事で本町内の学校への状況の変化はあるか。 (4)教職員の働き方の見直しについて「何が超勤の原因かを見出し負担軽減を図りたい」と言われたが原因は。 	教育長
5. 雇用について	雇用サポートセンター活性化事業のこれまでの業績等 について聞く	町長

質問者	⑫ 平 良 正 行 議 員	質問の相手
1. 街路樹につ いて	街路樹の目的は景観の向上や道路の保全、歩行者等に日陰を提供することなどが目的であるといわれています。街路樹の役割は景観のまちなみに統一感を与え、うるおいをもたせ環境,緑陰を形成し日差しを和らげ周囲の気温上層を抑えることでヒートアイランド現象の緩和、CO2を吸収することで地球温暖化防止に役立ちます。また、散歩やジョキングを促進し健康増進や精神的な充実感を与えてくれると言われています。 西原町では何か所かの路線で街路樹が植栽されていますが、街路樹の立ち枯れが多くみられ景観上好ましい状況ではありません。そこで、路線名と樹木名、本数、立ち枯れした街路樹の本数は何本か、わかる範囲で応えていただきたい。	町長
2. 堆肥補助金について	安全、安心な作物を栽培するには土作りが大変重要であります。有機物(落葉、雑草、生ごみ、米ぬか、油粕、牛フン)などの微生物の働きで発酵、分解させて作ったものを畑に入れることで、堆肥にいる微生物に供給し、また堆肥に含まれる有機物が微生物の働きにより病害虫の発生が少なくなり、土の団粒構造が発達して、ふかふかの土になります、堆肥の重要性は今のべたとおりであります。堆肥の重要性を理解してもらい、堆肥に対する補助をしていただきたい。	町長
3. 農薬購入補助金について	現在農薬を購入する場合は西原町農業生産振興補助金補助対象者カード(毎年更新)を発行しており、農薬購入時にカードを提出し20パーセント補助を受けています。カードの発行の条件をお聞きしたい。また、カード発行前の補助額と発行後の補助額の差額をお聞きしたい。	町長

4. 農業用廃プ ラスチック補助 金について	農家が増えており、そのため発生する廃プラスチック処理に大変困っていると農家の声が聞こえてきます。西原町では廃プラスチック処理に要する経費の1/3補助しているが、実績はどうか。	町長
5、西原町の産業まつりについて	西原町の産業まつりが平成29年1月21日~22日 西原町役場庁舎駐車場で開催されました。多くの町民が参加し、入場者数が例年より多く成功裏に終わりました。産業まつりの目的は、西原町で生産された農産物、花卉、農産加工品、水産物商工業製品及び手工芸品等を一堂に展示して、農家及び事業所の生産意欲の高揚を図り、町内の農産物や商工業製品を、広く町内外に紹介すると共に地域産業振興の発展に寄与することを目的としています。 (1)農産物、花卉、農産加工品、水産物商工業製品及び手工芸品等の出品者数、出品点数、をお聞きしたい。	町 長
質問者	③ 前 里 光 信 議 員	質問の相手
 町政運営について 	(1) 町長の施政方針について ア. 施政方針に「『まちづくり基本条例』の理念に基づき、町民協働の『文教のまち西原』の創造に邁進していきます。」と表明しておりますが、平成29年度の予算編成に当り、具体的にはどのような事業を計画して居りますが、それに町内の存在する大学等への気配りがなされているのでしょうか。	町 長

- ウ. 国際交流事業の今後の計画について、西原町はどの 国々とどのような交流を考えているのか。具体的な 方針が決まっているならお聞きしたい。
- エ. 大型マイスの建設について、県との連携作業はどのようなものがあるか。また背後地の利活用、つまりまちづくりをどう考えているか。
- (2)町所有の公共施設の管理について現状はどのようになっているか。

町 長

(3) 今後の西原町にとって、観光事業は大きな課題となると思われる。それに未だ観光協会も結成されておらず、他の市町村に遅れをとっている。どのような計画を持っているか。

町 長

2. 教育行政に ついて

(1) 学校給食費の値上げの計画があるが栄養の関係で特に変化がありますか。

教育長

- (2) 西原町の児童生徒の身体的成長の実状について質問します。小学校6年生及び中学校3年生の身長、体重等について数字で説明されたい。沖縄県の平均値、全国の平均値と比較してどうなっていますか。
- (3) 小中学校に於ける特別支援教育の実状について質問します。具体的な問題をかかえた生徒達にどんな形で(個別?)教育を実施しているか。
- (4) 県派遣のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー (SSW) の業務内容について質問します。又、その業務は学校支援にどう活かされておりますか。

質問者	④ 伊波時 男 議員	質問の相手
1. まちづくり について	(1)去る 12 月定例議会において、将来のまちづくりと題し、区画整理事業において投資した資金と完成後の固定資産税等の税収について	町長
	ア. 上原・棚原土地区画整理事業に伴う投資と税収の推移は。	
	イ. 現在施工中の西地区区画整理事業において、投資額と将来10年後20年後の税収見込額のシミュレーションは。	
	(2)MICE施設について マスコミによるとMICE施設用地については	
	ア. 駐車場用地、臨港道路3号などの用地取得に 関する費用について、県は、平成29年度予 算に計上されないとの情報ですが町当局の見 解は。	
	イ. 今後MICE施設の完成予定計画が変更にな ると考えるが見解は。	
	(3)大型店舗計画の進捗状況について	
	ア. 旧役場庁舎、西側に立地するスーパービッグが、去る2月28日で営業を終了し3月1日より、建物の解体作業が行われていた。その件で町当局はどのように把握されているか見解は。	
	イ. 今後は新中糖産業株式会社によって、スーパーのサンエーが新たに旧庁舎及びスーパービッグの両用地に計画されると理解しているが、今後の計画をおたずねします。	

 2. 商工業について 3. 文化財行政について 	 ウ. 上記スーパーサンエーの計画の中で、旧庁舎とスーパービッグとの間に県企業局の配水管が埋設されており、配水管は迂回する形で工事が行われるとの見解だったが、事業実施計画はどのようになっているか。 小那覇工業専用地域に企業誘致、企業立地に対して課税免除の推進をするとの事だが、具体的な内容は。 西原町の伝統文化や文化財保護思想の普及、啓発を図るため今年度策定する西原町歴史文化構想にもとづく保存活用計画の内容は。 	町長
質問者	⑮ 屋 比 久 満 議 員	質問の相手
1. 児童公園の整備	子どもの貧困、いじめ等で子ども達を取り巻く環境が年々悪化し大きな社会問題になっております。子どもの人格形成は学校での勉強は言うまでもありませんが、自然の中で子ども同士が触れ合い友情を育むことが大切であります。以前、兼久、美咲地域のスプロール化を防ぎマリンタウンとの一体的な地域づくりを目的に、南地区土地区画整理事業が計画され、その中で兼久、美咲地域に児童公園計画がありましたが断念して約20年が経過しております。兼久、美咲地域には残念ながら子ども達が遊べる施設がありません。そこで以下について伺います。 (1)美咲公民館の隣地に沖縄土地住宅所有の空き地があり、沖縄土地住宅へ要請され兼久、美咲地域の長年の願望である、公園整備計画について伺います。	町 長
2. 施政方針	施政方針について伺います。 (1) 町長は給食費の値上げを明らかにしたが、昨年9月 の町長選挙で公約に掲げた「支援が必要な世帯への 給食費無料化」と逆行し、町民に対する公約違反で	町 長

はないか、町長の見解を伺う。

- (2) 西原町ホームページについては、メールマガジンや ツイッター、フェイスブック等の多様な情報発信ツ ールはあるが、広報活動の柱である「広報にしはら」 にも、QRコード、メールアドレスやフェイスブッ ク等を載せたらどうか伺う。
- (3) 文化事業の推進の中で、国指定史跡「内間御殿」整 備事業とあるが、進捗状況を伺います。
- (4) 地方自治体は、地域における最大のサービス産業であり、町民は最大の顧客であると謳われており、また、職員の一層の資質の向上と職場の活性化に取り組むとあるが、先の議会での一般質問の中で、職員の県庁等への派遣が約18年間も無いとの事だが、今年度予定はあるのか伺う。
- (5) スポーツ・レクリエーションで、以前はプロ野球O Bによる少年野球教室があったが、今年度は事業の 中にないが、青少年健全育成の面で多大な影響を及 ぼす、少年野球教室を事業に復活できるか伺う。
- (6) 国際事業の推進の中で、町海外移住者子弟研修生受 入事業の見直しを行い、持続可能で発展的な国際交 流事業となるよう検討するとあるが、事業の詳細を 伺う。
- (7)消防・防災体制の確立の中で「災害はいつどこで発生してもおかしくない」という教訓を踏まえ、地域内にある新掲示板へ避難所等の標記があり、大変素晴らしいことで感謝します。町内の自主防災組織は11地域だと認識しておりますが、今後の普及・取り組み活動について伺う。
- (8) 崎原地区への民間開発計画の推進を図るとあるが、 進捗状況を伺う。

3. 住宅用火災報知機の設置	(1) 3月1日から7日まで春の全国火災予防週間運動期間である。消防法や市町村条例で義務づけられてから約10年経過しているが、県内の設置率は(57.6%)で全国平均(81.7%)を大幅に下回る。西原町内の火災報知機の設置率を伺う。 (2) 県内のある市では、体が不自由な住民や自費購入が難しい住民を対象に無料配布しているが、本町でも優先度の高い住宅から設置を支援する考えはあるのか伺う。	町長
質問者	⑯ 長 浜 ひろみ 議 員	質問の相手
1. 児童福祉に ついて	(1)数々の子どもの貧困対策事業を実施しているが、効 果の検証を問う。	町 長
	(2)待機児童対策について、ゼロ達成の見込みを問う。	
	(3)保育士の処遇改善についての、効果を問う。	
	(4) 非正規保育士の処遇改善を問う。	
2. 子どもの医 療費助成事業に ついて	市町村におけるこども医療費助成事業の現物給付方式については、国の国保に対する補助金の減額調整措置(ペナルティー)を2018年から未就学児童対象分を廃止する予定であるが、廃止されることで現物給付方式が導入できると考える。国保の県移管と合わせて準備していく必要性があると思うが、準備状況を問う。	町長
3. スポーツと 観光の振興児童 生徒の健全育成 について	(1)沖縄県空手会館の落成式が去る3月4日行われま した。内覧会に参加しての町長の感想を聞く。	町 長

	(2)なぜ、一括交付金を活用した「公認空手競技用マット」「空手マット運搬車」「空手用デジタルタイマー」 等の購入が厳しいのか問う。	
4.「文教のま ち」西原町の教 育行政について	(1)小中学生の不登校の実態は。(2)不登校児童生徒らの対策や効果、現在の実状を聞く。	教育長
5. 農水産物流 通・加工・観光 拠点施設と観光 について	(1) 西原町の人口は横ばいか、やや減少傾向であるが、 そうした状況で「農水産物流通・加工・観光拠点施 設」の完成に向けて計画が進められている。そこで 農水産物の生産体制や安定供給体制を問う。	町 長
	ア. 農水産物の重点品目はなにか。 イ. 代表観光地施設及び観光のめだま品目は。	
6. 交通政策について	MICE 施設完成にともない交通体系を本町はどのように計画又は要望していくのか問う。	町 長